

はじめに

当商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
 最初に本取扱説明書とご注文された製品及び納品された製品と一致しているかご確認ください。
 一致していない場合は、恐れ入りますがご購入された販売店にご連絡ください。
 安全にお使いいただくために本取扱説明書の注意事項を必ずお読みください。

本品は配線や接地線に乗った雷サージをバイパスし機器を保護する JIS 対応のクラス I 低圧電源用の屋内用サージ防護デバイス (SPD) です。劣化又は故障する可能性がある為、本製品に対してメガでの試験を行わないで下さい。

安全上の注意

- 本品は、規格に従ってテストを行っておりますが、すべての雷害から完全な保護を保証するものではありません。
- 取付け時、取付け後の関連する電気工事、保守および点検を行う前には、本取扱説明書と他の必要書類を必ずお読みいただき、正しくお使いください。本取扱説明書は、必要な方がいつでもお読みいただけるように保管して下さい。
- ここに示した注意事項は次のように区分しています。安全上に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。

危険 誤った取扱いにより、死亡や重傷など重大な事故に結びつく可能性があります。

注意 誤った取扱いにより、障害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があります。状況により、さらに重大な事故に結びつく可能性があります。

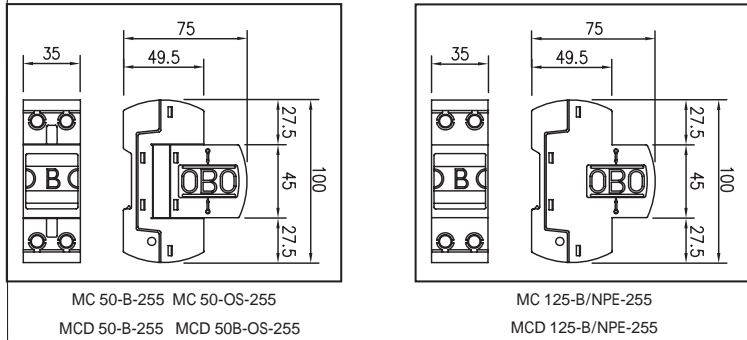
危険

- 通電中に導電部分やその周辺に触れると感電しますので絶対に触れないでください。
- 取付け、取外し、配線作業、保守および点検など本品と関連する作業を行う場合は、必ず上位遮断器を切り、電気を遮断してから行ってください。
- 雷が発生しているときは、危険ですので本品および配線に絶対に近づかないで下さい。

注意

- 取扱説明書に従って取付け、配線、保守および点検を行ってください。誤った取扱いは火災、事故、故障等の原因になります。
- 本品の使用目的以外のご使用はしないでください。火災、事故、故障等の原因になります。
- 本品を分解・改造・解体しないでください。火災、事故、故障等の原因になります。
- 取付け、配線、保守および点検は電気工事有資格者が行ってください。
- 筐体に変形、ひび割れ、変色などの異常がある場合は使用しないでください。正常に動作せずに火災、事故、故障等の原因になります。
- 本品に落下などの衝撃を与えないでください。破損し正常に動作せず、火災、事故、故障等の原因になります。
- 落雷の衝撃などで結線に緩みが発生することがありますので、結線に緩みがないかネジを定期的に締めるなど、接続を確認して下さい。正常に結線されていないと、火災、事故、故障、誤作動等の原因になります。
- 使用電圧や温度範囲など製品仕様にあった環境でご使用ください。火災、事故、故障等の原因になります。
- 設置する回路の最大電圧より本品の最大連続使用電圧が高いことを確認ください。火災、事故、故障等の原因になります。
- 本品は屋内専用ですので、屋外で使用しないでください。火災、事故、故障、誤作動等の原因になります。
- 水ぬれ、結露、多湿なところは絶縁が悪くなり感電や漏電事故等の原因になりますので、使用しないで下さい。
- 衝撃、振動、鉄粉、粉じん、腐食性ガスなどは本品に悪影響を与え火災、事故、故障等の原因になりますので避けて下さい。
- 結線に使用する電線は、本取扱説明書内の使用上の注意に記載されているサイズのものをお使いください。
- 短絡事故防止のため、SPD 分離器 (保護用遮断器) を必ず上位に設置してご使用ください。
- 本品はプラスチック、金属、焼結物等で構成されています。廃棄する場合には資源リサイクルルールに従って処理して下さい。
- 設備や機器、配線の耐電圧試験や絶縁抵抗 (メガ) 試験を行う場合は、モジュールをベースユニットから取外す、又はユニットを回路から切り離してから行ってください。火災、事故、誤作動、故障等の原因になります。
- 本品は全ての雷電流から電気機器を保護するものではありません。

外形寸法図



低圧電源用クラス I SPD

- 特長
- ・負荷を軽減した安全構造のマルチギャップ式
 - ・直撃雷 線間 50kA 対地間 125kA のハイエンドモデル
 - ・1.3kV の優れた電圧防護レベル (MCD)
 - ・ランニングコストが抑えられるギャップ式
 - ・10,000 回の印加テストに合格したグラファイトカーボン使用
 - ・DIN35mm レール対応
 - ・状態表示機能対応 (オプション)



MCD 50-B MCD 125-B/NPE

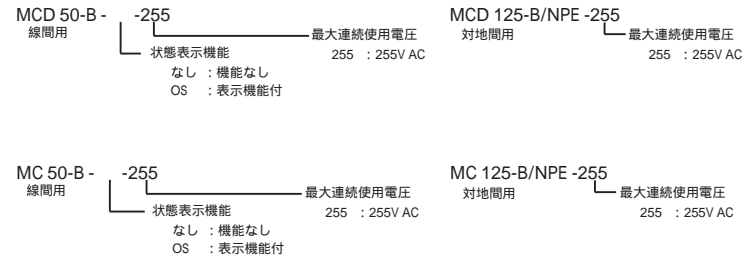
主な製品の仕様

| 型式 | MC 50-B-255 | MC 125-B/NPE-255 | MCD 50-B-255 | MCD 125-B/NPE-255 |
|--------------------|----------------|------------------------|--------------|-------------------|
| 最大連続使用電圧 | Uc AC 255V | 255V | 255V | 255V |
| インパルス電流 | Iimp 50kA | 125kA | 50kA | 125kA |
| 電圧防護レベル | Up 2.0kV | 2.5kV | 1.3kV | 1.3kV |
| 動作応答時間 | tA 100ns | 100ns | 100ns | 100ns |
| 最大バックアップヒューズ | 500A | — | 500A | — |
| 温度範囲 | -40 ~ +85 | -40 ~ +85 | -40 ~ +85 | -40 ~ +85 |
| 保護等級 | IP 20 | IP 20 | IP 20 | IP 20 |
| 用途 | 線間 | 対地間 | 線間 | 対地間 |
| 接続可能電線サイズ (単線/より線) | m ² | 14 ~ 22mm ² | | |

| 配電方式 | 単相 2 線 100V | 単相 3 線 200-100V | 単相 2 線 200V (無) | 三相 3 線 200V | 三相 3 線 200V (無) | 三相 4 線 200V 三相 4 線 400V |
|------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------|--------------------------------------|------------------|--------------------------------------|
| MC | 50-B-(OS)-255 x1 125-B/NPE-255 x1 | 50-B-(OS)-255 x2 125-B/NPE-255 x1 | 50-B-(OS)-255 x2 | 50-B-(OS)-255 x2 125-B/NPE-255 x1 | 50-B-(OS)-255 x3 | 50-B-(OS)-255 x3 125-B/NPE-255 x1 |
| MCD | 50-B-(OS)-255 x1 125-B/NPE-255 x1 | 50-B-(OS)-255 x2 125-B/NPE-255 x1 | 50-B-(OS)-255 x2 | 50-B-(OS)-255 x2 125-B/NPE-255 x1 | 50-B-(OS)-255 x3 | 50-B-(OS)-255 x3 125-B/NPE-255 x1 |

(無) : 接地線なし

型式



使用上の注意

- ・本品は誘導雷用であり、直撃雷には対応しておりません。
- ・本品の構成、最大連続使用電圧が被保護機器の配電系統の電気方式、電圧に適しているか確認下さい。
- ・本品の仕様を超える雷電流を受けると破損する可能性があります。安全のため金属製の盤内に設置して下さい。
- ・SPD の短絡保護、また点検用として SPD 分離器を必ず本器の上位に設置して下さい。
- ・SPD の接地線は盤内接地端子に必ず接続してください。機器保護が出来なくなります。
- ・設備や機器、配線の耐電圧試験や絶縁抵抗試験を行う場合は、モジュールをベースユニットから取外す又はユニットを回路から切り離してから行って下さい。
- ・線路側、接地側共に断面積 14mm²以上の電線を用い、最短距離で接続して下さい。
- ・ベースユニット端子に電線をしっかり差込み、押し込みながらトルク 4N・m で完全に締付けて下さい。
- ・配線の締付け後、緩みがないことをご確認ください。
- ・SPD の入力側と出力側の配線は並べないで下さい。
- ・設備機器の接地線を SPD の接地側端子に直接接続するのが理想的ですが、それが出来ない場合は以下の方法で接続して下さい。
- ・SPD の接地線は図 1 の様に、盤内接地端子へ直接接続して下さい。
- ・図 2 の接続では接地への配線が必要以上に長く配線インピーダンスにより電圧降下が発生し、SPD の防護効果が減少します。
- ・客先指定のある場合は、その指示に従ってください。

回路構成図

状態表示機能と保守

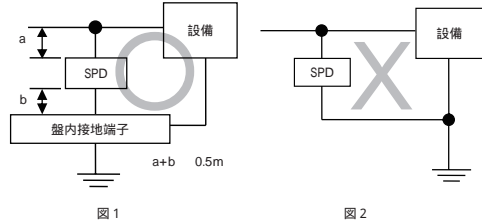
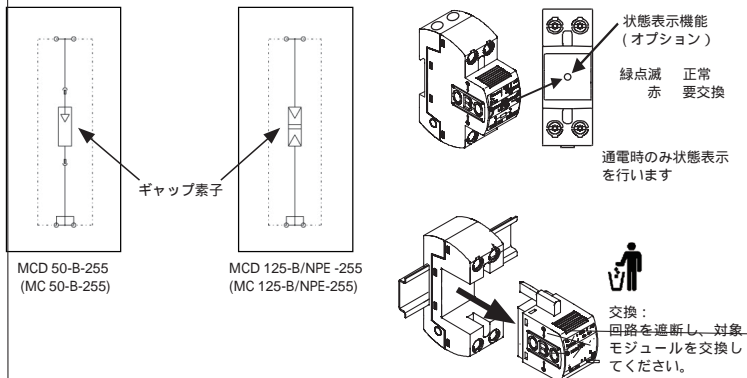
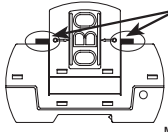


図 1
 図 2

JIS C 5381-11 及び JIS C 60364-5-53 において SPD の合計の接続リード線長は 0.5 m 以下が望ましい。と記されています。

取付方法

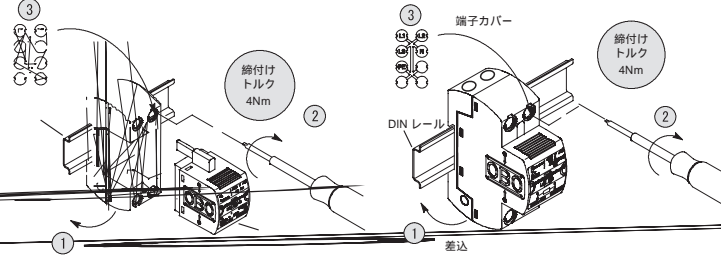
- 必ず、電気工事が資格者が施工してください。
- 上位遮断器を切って、電気を遮断してから作業してください。
- ベースユニットを 35mmDIN レールに取付けてください。
- 接続する電線をベースユニット端子に差込み、トルク 4N・m で締付けてください。
- モジュールは確実にベースユニットの奥まで差込んでください。



モジュール両脇にある位置合わせバーがベースユニットに完全に隠れていることをご確認ください。浮き上がっている場合にはモジュールを奥まで押し込んでください。

DIN レールへの取付け
 ベースユニットの爪をレールにはめ込み、下側をカチッと音がするまでレールに押し込んでください。(ユニットを上下逆に取付けることも出来ません。)

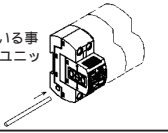
MCD 125-B/NPE-255 (MC 125-B/NPE-255) はモジュール、ベース一体型です



*モジュール型式: MCD 50-B/0 (MC 50-B/0)
 *ベースユニット型式: MC 50-B/U VDE

接続線サイズ: 14mm²以上

オプションの連結銅バーを用いる事により MCD (又は MC) の各ユニットを連結出来ます。



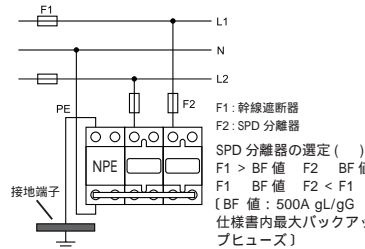
SPD 分離器

SPD の 1 次側に設ける遮断器 (SPD 分離器) は、SPD や電気回路の保守点検時に回路を遮断する為 (点検用)、SPD 短絡時に電気回路を守る (電気回路保護用)、SPD に仕様の以上の雷電流が侵入することにより SPD の損傷を防ぐ (SPD 保護用) を目的としています。定格電流値が小さすぎる、或いは MCCB 等で雷電流通過時に接点の浮き上がりなどの不要動作等が発生する SPD 分離器は雷電流を確実にバイパス出来ず、機器の保護が出来ない場合があります。

SPD 分離器は定格電流、遮断容量のほか、雷電流により接点の浮き上がりや不要動作が起きることなく確実に雷電流をバイパス出来る SPD 分離器を設置する必要があります。定格電流が小さすぎると雷電流の侵入時に SPD 分離器がトリップする可能性があり、また大きすぎると性能以上の雷電流が侵入した場合、SPD が故障してしまう恐れがあり、SPD ごとにバックアップヒューズ値以下のものを選定する必要があります。

MCCB (配線用遮断器) を SPD 分離器としても用いる場合には、雷電流侵入時に不要動作や接点の浮き上がりが発生しない製品を選定して下さい。また漏電ブレーカが SPD の上位に設置されている場合には、SPD がバイパス電流を流すと漏電検出回路が漏電と誤判定し、SPD の回路を遮断してしまう可能性があります。

MCD 50-B-255 x 2 MCD 125-B/NPE-255 x 1
 MC 50-B-255 x 2 MC 125-B/NPE-255 x 1

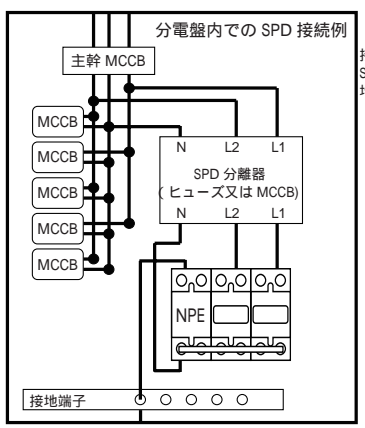


新しい技術でこれらの問題に対応できる製品もあるようですので、各メーカに確認して選定をお薦めします。特に受電トランスの近傍に設置する SPD の保護遮断器を主幹に設置する場合は、定格電流 (トリップ値) の他、トランス容量、電線サイズとトランスから SPD までの距離により計算される地絡電流を遮断出来る容量 (遮断容量) にも留意して SPD 分離器を選定して下さい。ヒューズは不要動作がなく、遮断容量も大きく SPD 分離器として推奨します。

SPD 分離器 (*): 最大バックアップヒューズ値 (500A gL/gG) 以下で、雷保護レベルによる雷電流、雷保護システムに従って選定してください。

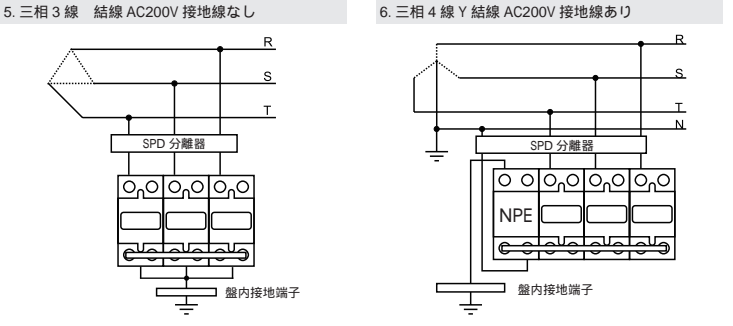
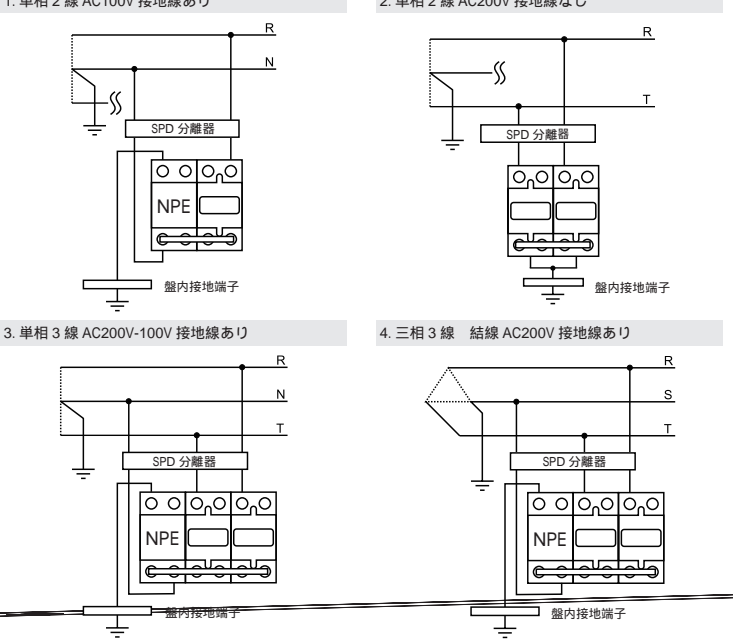
*参考: 国土交通省建築設備設計基準 平成 27 年度版では「低圧用 SPD に設ける SPD 分離器は、SPD を設置する箇所の短絡電流以上とし、特記する。」なお SPD の故障を考慮し、分離器より上位の遮断器と過電流動作協調を検討する。」と記述しています。

(*) F 2 は、雷保護レベルによる雷電流値等、雷保護システム設計に従い選定してください。



接続例

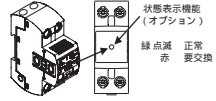
(SPD 分離器として MCCB を用いる場合を図示しています。ヒューズを用いる場合は別途、お問い合わせ下さい。)



点検および交換

- モジュールの組み込み、結線及び保守は、電源等設置環境に留意の上、電気工事が資格者が行ってください。
- 安全のため SPD 分離器を切り、電気を遮断してから作業してください。
- 直撃雷もしくは誘導雷により規格以上の衝撃を受けた場合等は故障することがありますので、定期点検のほか落雷直後、および雷シーズン前・後には配線の緩みがない事の確認と共に、本品の外観検査とテスターを使ったデバイス電気検査を行ってください。
- 通電状態で LED が約 1 秒間隔で点滅していれば正常に動作しております。(状態表示機能付きの場合)

・次の場合は交換してください。適正な保護が出来ない場合があります。



- 状態表示が要交換モード (状態表示機能付きの場合) を表示している場合 (通電時のみ状態表示を行います)
- モジュール、ベースユニットを含む本体にひび、変形・変色などの異常がある場合
- 短絡保護・点検用ヒューズが溶断、あるいは短絡保護・点検用の SPD 分離が頻繁にトリップする場合
- 漏電遮断器が繰返し動作する場合
- 本体またはモジュールを取外し、上下端子間をテスターで計測し 1.0M 以下である場合

正常品判定基準

| 型式 | 判定基準 |
|-------------------------------------|---------|
| MC125-B/NPE-255 MCD125-B/NPE-255 | > 1.0 M |

メガでの測定は故障又は劣化の原因となりますので、行わないでください。

本製品及び施工方法、取扱方法についてご不明点がございましたら、お手数ですが弊社又はお買い求めの代理店へお尋ねください。

製品の保証

無償保証期間
 製品の無償保証期間は、販売後 1 年です。(弊社又は弊社の正規代理店よりご購入された製品に限ります。)

保証範囲
 無償保証期間内に弊社の責任により故障が生じた場合は、本品の故障部分の修理及び交換を無償でいたします。ただし、次に該当する場合はこの保証外になります。

- ・カタログ、取扱説明書の記載内容以外の不適当な条件、使用方法等に起因した故障の場合
- ・故障の原因が本品以外の理由による場合
- ・不適切な保管、使用上の誤り、改造、分解、修理、過失などによる場合
- ・施工上の不備、誤った保守に起因する場合
- ・使用目的以外での使用による故障
- ・弊社からの出荷時に実用化されている科学技術水準で予見できない事由による原因
- ・火災、天災など弊社の責任でない場合

弊社商品以外の補償責任について

無償保証期間内外を問わず、保証の対象は本品に限ります。弊社商品の故障に起因するお客様あるいは、お客様の顧客殿での弊社商品以外への損傷ならびに機会損失、その他業務に対する補償は弊社の保証外とさせていただきます。

OBO ベターマン輸入総代理店
 株式会社イーユーテック
 〒220-0072
 神奈川県横浜市西区浅間町 1-13-5
 TEL : 045-326-3663
 FAX : 045-326-3660